

広島工大同窓会会報

第20号

広島工業大学同窓会
佐伯区五日市町三宅
発行者
永見憲吾

20周年記念講演会をふりかえって

永見憲吾



去る4月20日、同窓会創立20周年記念として講演会を行いました。講師はNHK技術本部の和久井孝太郎先生をお招きし、有意義なひとときを持つことが出来ました。ここにその要旨を書かせて頂き、共に学びたいと思います。

アルビン・トフラーは情報革命を「第三の波」と問題提起を致しましたが、実は人間の歴史始まって以来、我々は激動への対応を迫られています。エレクトロニクスの分野では1950年前から70年の20年間はトランジスターの時代であり、放送や公衆電気通信、コンピューターの分野に大きな変革をもたらしました。コンピューター等はトランジスターが発明されて初めて実用化されたといっても過言ではないでしょう。1970～90年はLSI、VLSIを軸とするマイクロエレクトロニクスの時代であります。我が国のテレビ放送は今年で33歳となります。1960年にはカラー化がなされ、この頃から積極的に機器のトランジスター化が進められるようになりました。

カラーカメラはトランジスター化やその後続くマイクロエレクトロニクス化によってこの20年間で約100倍位進歩致しました。そして、最近では人体内にもぐり込ませる超小型カメラの研究も行われています。カメラだけでなく、VTRなどもこの20年間で100倍以上も進歩致しました。どうやらエレクトロニクスはIC、LSIの素子レベルで10年間に約100倍、又、装置レベルでは20年間で100倍程度は進歩しているようであります。ちなみにコンピューターは10年間で40倍の進歩があるようであります。

1980年代はマイクロエレクトロニクス成熟の時代でニューメディア実用化の時代でもあります。さらに、1990年以後の20年間はモレキュラエレクトロニクスの時代になると考えられます。このように、好むと好まざるとにかかわらず、急激な変化の時代が歴史始まって以来、最初の出来事としてきているように思えます。

アルビン・トフラーは「第三の波」の中で、第一の波を

農業革命、第二の波を産業革命、第三の波を情報革命としました。しかし、現代は過去の時代とは全く状況を異にしています。

第一に、地球の人口は21世紀の比較的早い時期で100億を突破するでしょう。又、東西問題、南北問題、資源、エネルギー問題をどの様に解決するのでしょうか。一方、現代の物理学では地球上の全てのものを結合から切り離し、細分化していくものと考えられています。しかし、人間の社会機構はこの逆に基本粒子から出発して素粒子→原子→分子→高分子→生体高分子→単細胞生物→多細胞生物→現代社会、そして超結合社会へと至る結合様式、すなわち、エレクトロニクスを基盤とする強力なコミュニケーション手段を持つ高度の人・社会への調へと展開していくでしょう。この複雑な新しい社会機構の中でそれに合った新しい哲学体系も早急に考え出さなければならない時に来ていると思います。

以上、紙面の都合上、概略しか書けませんが、どちらにしても、これからの時代は、エレクトロニクスを中心とする新しい時代が到来するようで、我々も心して日々の生活を有意義なものとなるよう努力していきたいものであります。

最後に話を交えて母校鶴学園30周年記念に於ける募金運動につきましては、何かと出費多端の折、ご協力を賜りましてありがとうございます。まだ寄附をされていない同窓生が多数おられますが、寄附金の募集期間は来年9月までですので、引き続き金銭の大小にかかわらずご協力下さいませようお願い申し上げます。皆様方のご多幸をお祈り申し上げます。



20周年記念総会報告

(第21回 定期総会)

20周年記念総会が去る4月20日広島シティーホテルにおいて開催された。また、同日、会に先立って、20周年記念講演会が場所を同じくして催された。

記念講演は講師に和久井孝太郎氏（NHK技術本部経営主幹）をお迎えし、「放送ニューメディアの現状と将来」をテーマに、技術面、精神面など多岐に亘る有意義なお話であった。

講演会の後、数十分の休憩をおき、総会が開催された。総会は、まず永見会長の挨拶で始まり、顧問の山本先生より、20周年を迎えた同窓会に対する記念の祝辞ならびに、会が益々発展するために息の長い活動を続け愛される同窓会であらねばならぬなどの有意義なご助言を頂いた。

議事は議長に森京氏（昭53年建築卒）を選出し、昭和60年度活動報告、会計報告など議題の順に滞りなく進められ閉会した。

引き続き、母校の各学科の先生方および各部局の職員の方々、等の多くの教職員参加の中で同窓会員との懇親会が開催され盛会のうち終了した。以下に総会の要約を述べる。

本会は今年が創立20周年という記念すべき年であり、議事ならびに話題も、このための記念事業に関する内容が中心であった。

中西幹事長は、昭和59年度第20回総会で決議された記念事業の内、記念誌の発行、同窓会名簿の充実とその処理の電算化（電算化処理された名簿は会員各位に記念号として配布された。勿論、今後継続充実を行ってゆく）、記念総会ならびに講演会が実施されたことを報告し、さらに鶴学園30周年記念に対する寄付、奨学金の見直し、全国支部組織の確立、など残りの事業が進められており、本年度続けて活動方針の一環としたいとの提案があった。これらの議題とともに、支部への援助、会報・会誌の発行・在学生の援助などが昭和61年度活動として了承された。

最後に、役員改選において、永見会長が再任され、今後の活力ある同窓会への努力の決意が述べられた。また、会員各位に鶴学園30周年記念に対する寄付のお願いとともに、本会として寄付をどうすればよいかを話題に出され、役員会、幹事会で十分検討の上決定するよう了承を頂いた。

本会の発展と20周年記念事業を成功させることを基調として会が締め括られた。

昭和60年度 活動の主なもの

4月 総会開催

8月 会報発行（1万3000部発行）



- 8月 長崎県支部総会出席
ヨット部の全国大会遠征援助
- 9月 同窓会奨学生選考（10名 36万円支給）
文化局第17回芸術展ならびに第20回定期演奏会への援助
マンドリン部定期演奏会への援助
- 10月 山陰地区支部結成の集いに出席
- 11月 アーチェリー部の全国大会出場への援助
軽音楽部定期演奏会への援助
- 12月 学園30周年および同窓会20周年に関する談話会開催
- 1月 写真部合同撮影会への援助
マンドリン部定期演奏会への援助
卓球部全国大会出場への援助
漕艇部全国大会出場への援助
軟式野球部遠征への援助
- 2月 第4回組織の充実と活性化のための集い開催 96名出席（2月23日・於大学会館）
- 3月 20周年記念誌、電算化名簿発行、全会員に配布
卒業生への記念品贈呈

昭和61年度 活動方針

1. 同窓会20周年記念事業
 - ◎ 記念総会、記念講演会、学園への寄付
全国支部組織の確立、奨学制度の見直し
2. 同窓会事務内規の検討
3. 同窓会組織の見直し
 - ◎ 将来、法人化することを目標として



幹事長挨拶

同窓会幹事長 伊藤秀敏

昨年度は同窓会20周年、更に今年度は学園30周年に当り、幹事長を仰せつかり、不相応と感じながらも、じんじを尽すつもりです。昨年度は20周年行事が実施され同窓生の皆様の賛同により成功裡に終始したものと確信しております。

本年度の活動方針としましては、従来の活動に加え、前年度からの継続審議事項を検討しながら実行にうつしたいと考えております。ちなみに、その活動方針の重点項目を上げてみますと、①学園30周年事業に対する寄附活動、②同窓会活性化のための組織の見直しと支部結成、③事務規約

の見直し等をメインテーマとして、活動する方針でありましたが、学園30周年事業に関する寄附が今一つ盛り上りに欠けていることが懸念されます。

今後、学園側と同窓会とのかわりはより親密にすべきことと思いますので、是非寄附の件、御協力を御願致します。

同窓会の活性化を測るため、役員幹事一同努力する所存ですが、会員の皆様の御協力をせつて御願います次第です。

昭和61年度 同窓会役員名簿

会 長 永見憲吾
副会長 荒谷寿一、道田憲治
幹事長 伊藤秀敏(土)
副幹事長 菅 雄三(土)、中西助次(基)
会 計 松広 斎(経)、砂田謙二(子)、
古川博仁(基)
会計監査 西野達夫(経)、橋田好弘
書 記 吉山美佐子(経)、大林 真(建)
幹 事 (子)川畑敬志、村田弘志、玉野和保
重広孝則
(電)沖根光夫、湯尻 照、猪上憲治
原田義治
(機)片山剛之丞、小西正明、松江孝博

(機)吉田和信、水落健治
(基)森滝美治郎
(土)田原和彦、村中昭典
(建)菅原辰幸、手越義昭、植村邦彦
(電算)近宗 貴、広重 隆
(経)西田弘展
(総)福永 保
評 議 員 栗栖律郎、八幡文伍、上岡洋史、山口和夫
松原昌弘、森本房義、猪原憲昭、砂原照雄
杉島民雄、大藤英寿、船倉 宏、三浦勝行
森 聖輝、青木能典、中塚晴夫、金堀一郎
森京 正、森田洋生、岡本世紀、峠 孝司
大田喜徳、吉清有三

昭和60年度 会計報告 (昭和60年4月1日 昭和61年3月31日)

〈決算〉

(単位:円)

項 目	収 入	支 出	残 高
昭和60年度総収入	19,559,575		
昭和60年度総支出		15,375,887	
合 計	19,559,575	15,375,887	4,183,688

〈収入の部〉

(単位:円)

項 目	決 算 額
昭和59年度繰越金	5,389,358
入 会 金	877 × 2,000 1,754,000
終身会費	882 × 13,000 11,466,000
総会会費	50 × 2,000 100,000
広 告 料	350,000
雑収入(寄付金等)	357,500
預 金 利 息	142,717
合 計	19,559,575

〈支出の部〉

(単位：円)

項 目	予 算	支 出	差 異	項 目	予 算	支 出	差 異
記念会誌発行費	9,000,000	8,932,650	67,350	役員手当	82,000	72,000	10,000
会報発行費	1,350,000	1,040,840	309,160	調 査 費	100,000	0	100,000
総会開催費	900,000	584,120	315,880	備 品 費	50,000	10,000	40,000
支 部 費	300,000	135,660	164,340	委 託 費	1,500,000	1,499,175	825
在学生援助費	1,300,000	500,000	800,000	奨学基金繰込金	734,000	734,000	0
卒業記念品代	600,000	514,710	85,290	鶴奨学会寄付金	100,000	100,000	0
通 信 費	300,000	258,910	41,090	組織拡充代表者会議	700,000	441,980	258,020
消 耗 品 費	400,000	397,040	2,960	予 備 費	1,237,358	0	1,237,358
交 通 費	260,000	60,100	199,900				
会 議 費	250,000	94,702	155,298	合 計	19,163,358	15,375,887	3,787,471

※予備費から通信費へ100,000円流用

昭和60年度
同窓会奨学会計報告

(単位：円)

項 目	収 入	支 出	残 高
基 金	5,495,380		
繰 込 金	734,000		
利 息	6,061		
奨 学 金		360,000	
寄 付 金	673,916		
手 数 料		10,770	
合 計	6,909,357	370,770	6,538,587

以上の会計報告の正確なることを承認します。

昭和61年4月15日

監 査 橋 田 好 弘

監 査 菅 雄 三

昭和61年度 予算案

〈収入の部〉

(単位：円)

項 目	予 算	記 事
昭和60年度繰越金	4,183,688	
入 会 金	1,648,000	824人×2,000円
終 身 会 費	10,114,000	778人×13,000円
総 会 会 費	300,000	100人×3,000円
広 告 料	350,000	
雑 収 入 (名簿発行寄付金)	※1,000,000	
預 金 利 息	150,000	
合 計	17,745,688	

〈支出の部〉

(単位：円)

項 目	予 算 額	項 目	予 算 額
名簿発行費 (2年計画支出分含む)	5,700,000	通 信 費	300,000
会誌発行費	3,500,000	消 耗 品 費	400,000
印刷費	1,300,000	交 通 費	130,000
郵送費	2,170,000	会 議 費	130,000
交通費	30,000	役 員 手 当	82,000
会報発行費	1,100,000	会 計	15,000
印刷費	220,000	会報発行責任者	2,000
郵送費	850,000	会誌発行責任者	5,000
交通費	30,000	名簿発行責任者	5,000
総会開催費	1,250,000	支担当責任者	5,000
懇親会	700,000	その他(日当)	50,000
講師謝礼	150,000	調 査 費	30,000
交通費	100,000	備 品 費	30,000
記念品代	150,000	委 託 費	1,500,000
会場費	100,000	奨学基金繰込金	※ 1,000,000
諸	50,000	鶴奨学会寄付金	100,000
支部費	200,000	予 備 費	393,688
在学生援助費	1,300,000		
工大祭	400,000		
体育祭	300,000		
クマブ援助費	600,000		
卒業記念品代	600,000	合 計	17,745,688

諸 報

叙 勲

○広島工業大学

- 勲三等旭日中綬章 中井 正文 特任教授
勲四等瑞宝章受章 隅本 要 学生相談室長
勲五等双光旭日章受章 長崎 重芳 特任教授

名誉教授称号授与

(昭和61年4月1日付)

名誉教授 中井 正文

学位授与

○広島工業大学

- ・一般教育 石田 剛
学位の種類 教育学博士
授与年月日 昭和60年3月15日

論文名 「アカデミック・プロダクティビティの社会学的研究」

授与大学 広島大学

・建築学科 丹羽 博 亨

学位の種類 工学博士

授与年月日 昭和60年10月9日

論文名 「日蓮教団寺院の伽藍と建築に関する研究」

授与大学 東北大学

・土木工学科 中山 隆 弘

学位の種類 工学博士

授与年月日 昭和61年3月7日

論文名 「不規則変動荷重を受ける構造物の初通過破壊確率に関する研究」

授与大学 大阪大学

大学だより



〔工学部〕

〔男女共学〕

電子工学科…… 140名 電気工学科…… 140名 機械工学科…… 240名
 土木工学科…… 140名 建築学科…… 140名 経営工学科…… 140名

広島工業大学

〔62年度入試要項〕

〔卒業後の取得資格〕

☆推薦入学制（非指定校）実施

入試概要	推薦試験	一般試験
試験日	11月30日（日）	2月1日（日）
出願期間	11月11日（火）～ 11月21日（金）	1月10日（土）～ 1月23日（金）
合格発表	12月9日（火）	2月10日（火）
試験地	本学（広島）・ 岡山・松山・ 福岡	本学（広島）・ 大阪・岡山・ 松山・福岡
試験科目	数 学	数学Ⅰ，代数，幾何，基礎解析
	理 科	物理 } どちらかを選択 化学 } (いずれも理科Ⅰの当該 分野を含む)
	外国語	英語Ⅰ，英語Ⅱ

〔奨学制度〕

名 称	支 給 額	返 還 義 務	
鶴学園 待 待 生	授業料全額免除	無	
(財) 鶴 奨 学 会	(年額) 54,000円	無	
広島工業大学同窓会	(年額) 36,000円	無	
日 本 育 英 会	一 般	(月額) 27,000円	有
	特 別	自 宅 (月額) 29,000円 自 宅 外 (月額) 39,000円	
	第 一 種	自 宅 (月額) 31,000円	
	第 二 種	自 宅 外 (月額) 41,000円	

その他、地方公共団体・民間育英団体の奨学制度がある。

〔お問い合わせ先〕

〒731-51 広島市佐伯区五日市町三宅725

TEL (0829) 21-3121(代)

広島工業大学 入試係

1. 教員免許
卒業生は、在学中に教職課程を修得することにより、高等学校教諭2級普通免許状（工業）の交付を受けることができる。
2. 電気主任技術者
電気工学科の卒業生は、在学中に指定された授業科目を修得し、卒業後所定の実務経験を修ると、電気主任技術者免許状が取得できる。
3. 電気工事士
電気工学科の卒業生は、在学中に指定された授業科目を修得することにより、電気工事士試験のうち学科試験が免除される。
4. 測量士補・測量士
土木工学科の卒業生は、所定の単位を修得すれば卒業と同時に測量士補の無試験登録、卒業後1年の測量実務を経ると、測量士の無試験登録ができる。
5. 建築士
建築学科の卒業生は、卒業と同時に二級建築士試験及び木造建築士試験を、また卒業後2年以上以上建築に関する実務に従事した場合は、一級建築士試験を受験できる。
土木工学科の卒業生は、卒業後1年以上以上建築に関する実務に従事すると二級建築士試験及び木造建築士試験を、また卒業後2年以上以上建築に関する実務に従事した場合は、一級建築士試験を受験できる。
6. その他
卒業生は、上記以外の国家資格試験において、受験資格が与えられるもの、あるいは、試験科目の一部が免除されるものがある。

学園だより

お願いいたします。

昭和61年7月

広島工業大学記念事業事務局

卒業生の皆さんへ

創立30周年記念事業 募金について

既にお知らせ申し上げておりますように、鶴学園創立30周年を記念して、鶴記念体育館の建設をはじめ、諸事業を計画し、建設資金の一部の募金を行っております。

昭和61年6月末日現在までに、法人(会社等)の寄付は208社、1億8百万円、また卒業生からは666名、8百万円、その他在学生父母・教職員・個人・団体から9千2百万円のお申込を戴いており、申込総額は2億8百万円に達しておりますが、募金目標額4億円からすると、まだ50%強の達成状況であります。

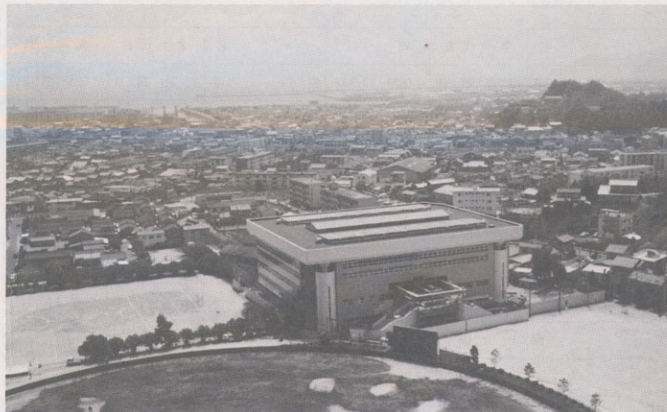
なるべく早く目標額を達成し、記念事業を完遂したいと考えておりますので、まだお申し込みを戴いていない卒業生の方々に絶大なご協力をいただきたくお願い申し上げる次第でございます。

なお、1万円を超える募金につきましては、所得税の減税措置もございます。

以上ご考察のうえ、よろしくご協力くださるよう重ねて



完成した新1号館



完成間近な鶴記念体育館

文化局だより

文化局主催によります恒例のイベント、芸術展と定期演奏会も、回を重ねるごとに円熟してまいりました。

今年で18回を迎える芸術展は5月29日～6月1日までの4日間、県民文化センターに於いて、美術部、書道部、写真部が作品の展示を行いました。又、5月31日には、ウィズワンダーランドのホールに於いて、映画研究部、放送部、A、I、Cの3サークルが各自の作品を上映し、成功のうちには終了しました。

定期演奏会 (LIGHT MUSIC CONCERT)

は、7月1日に郵便貯金会館ホールに於いて開催され、グリーマンドリン、軽音、ロック、フォークの5サークルが、すばらしいステージを見せてくれました。

以上2つの行事を通じて、工大文化系サークルの活動を一般の人々や工大生に広くアピールしました。

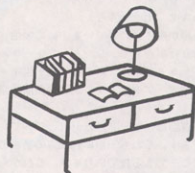
現在、我々文化局及び文化系サークルは工大祭へ向けて、夜遅くまで活動しておりますので、近くに用事がありましたら、是非クラブハウスの方まで遊びに来て下さい。



サークル紹介

	サークル名	学生代表	電 話	サークル名	学生代表	電 話
体 育	柔 道	溜 島 浩 伸	(0829) 23-3006	空 手	村 山 昌 彦	(0829) 21-0449
	剣 道	水 戸 正 和	(082) 244-0532	ボ ク シ ン グ	岡 信 勝 利	(0824) 34-0777
	弓 道	大 滝 泰 洋	(0829) 23-4488	ヨ ッ ト	佐 上 真 一	(082) 879-7601
	合 気 道	松 田 敏 則	(08267) 5-0253	ス キ ー	小 川 誠	(0823) 72-4039
	少 林 寺	美濃部 成 文	(0829) 32-7364	自 動 車	宮 本 誠 司	(08266) 4-2670
	重 量 拳	水 島 孝 一	(0829) 23-4868	ラ グ ビ ー	吉 岡 治	(0829) 21-4919
	ア ー チ ョ ー リ ー	居 藤 滋 樹	(0829) 22-3621	ユ ー ス ホ ス テ ル	目 崎 誠	(0827) 32-4461
系	水 泳	土 田 康 生	(082) 885-2779	山 岳	青 木 勝 洋	
	陸 上	里 重 考 治	(0829) 39-2872	サイ ク リ ン グ	江 村 美 彦	(0829) 23-2669
	バ ス ケ ッ ト	平 川 光 男	(0829) 22-2301	ワ ン ダ ー フ ォ ー ゲ ル	崎 山 一 生	(0829) 23-3496

	サークル名	学生代表	電 話	サークル名	学生代表	電 話
体	硬式野球	紺田和夫	(082)237-0108	スケート	岩切俊介	(0832)56-5613
	軟式野球	前田陽一	(0829)22-4470	バドミントン	市木庸公	(0827)22-5443
	卓球	津田義明	(082)233-2452	正道術	門田雄二	(0829)28-7515
	ハンドボール	浜井俊治	(0829)23-8906	エスキーツ	黒宮伸治	(0829)23-4899
育	硬式庭球	井上茂樹	(0829)22-0838	ゴルフ	小河基邦	(0829)36-1088
	軟式庭球	井上雅雄	(082)278-3015	射撃	松山泰史	(0829)22-7109
系	ボート	井川和夫	(0829)38-0663	馬術	中野淳一	(082)822-6371
	サッカー	林田啓吾	(0829)39-1661	ビラスキー	加藤修	(082)281-3879
	バレーボール	山崎秀峰	(0829)23-4868	モーターサイクル	井上善照	(0829)23-3496
文	科学部	竹内一浩	(0829)23-0746	グリークラブ	徳田勝一	(0829)22-2158
	無線部	久保川淳司	(082)877-3335	マンドリンクラブ	石岡達行	(0829)23-2669
	基礎理論工学研究会	伊藤康彦	(0829)28-7575	軽音楽部	後迫裕司	(082)255-1745
	鉄道研究部	伊藤秀文	(0829)23-2456	囲碁将棋部	古泉将樹	(0829)22-1204
	美術部	松岡佳宏	(0823)33-7051	E. S. S.	村上統	(0829)31-0449
化	書道部	戸田浩一	(0829)21-0231	茶道部	北川孝	(0829)22-0408
	写真部	丸山章雄	(082)879-0189	落語研究会	堀尾美川広	(0829)32-8982
	映画研究部	秦増博仁	(0823)33-0197	吟道同好会	吉村保彦	(0829)21-4431
系	放送部	金本行弘	(082)293-0164	生物研究愛好会	橋詰幸司	(082)239-0617
	A. I. C.	中筋統	(0829)32-2033	天文研究会	福本裕紀	(0829)36-0294
	フォーク部	江口弘樹	(0829)21-2991	アイディア研究会	長村雅彦	(082)220-1365
	ロック部	金坂弘昭	(0859)32-3377	赤十字奉仕団	伊藤毅	(0829)21-1993



体育会だより

体育会10周年記念 第一弾

記念コンサート—LOOK—

6月11日、体育会10周年記念コンサートとして、LOOKコンサートを広島厚生年金会館ホールに於いて行いました。2千席のホールを工大生及び一般の方々で埋めつくし、大変盛大に行われ、体育会発足以来、今、及びそれ以前の体育局時代から今日築かれた体育会を祝う目的で企画された記念行事の第一弾として充分にふさわしいものとなり、11月に開催される記念式典及び、記念OB名簿作成に向けて実行委員及び本部役員一同頑張りたいと思います。

第25回体育祭がテーマ「新人類、君が主役だ」で5月23日～25日の間で開催されました。好天に恵まれ、工大全体が、ソフト・バレー・サッカー・バスケット・テニス・卓球等の競技で埋めつくされ、大変盛り上がりしました。中でも卓球は昨年までのクラス対抗とせず、オープン参加として個人トーナメントで行いました結果、経験者が続々と参加して好評を得ましたが、騎馬戦、極楽寺登山で、しんどい危ない等の理由で参加者が少なかったのが残念で、今後の大きな課題となりそうです。

現在の体育会の年間行事での体育祭は最も大きな行事ですが、この他にも体育祭に劣らぬくらいに活発な行事があります。一つは前、後期ソフトボール大会です。これは土、日を2週間使って行われ、募集チーム124チームが、自主的に参加して来ます。

これらのチームのベスト3は、広島地区大学体育連合のソフトボール大会に出場権を得て、勝てば広島地区のNo.1に輝く事になります。近年の結果では我工大のチームが上位を占めています。この他に現在の年間行事が下記の通りあります。

- フレッシュマンセミナー（7月）
- 演武祭（10月）
- クラブ対抗ソフトボール大会（11月）
- 少年少女球技大会（11月）
- 少年少女剣道大会（11月）
- 60年度スポーツ講演会（11月）
- 三宅駅伝大会（12月）
- 競開き（1月）
- 大山スキーパーティー（3月）
- リリーダーセミナー（4月）

以上の様な行事が主に行われています。この他、サークルが主催して行う行事として、ワンダーフォーゲル部の宮島ワンタリング、ユースホステルの春・夏子供キャンプ、サイクリング部のオープンサイク、武道班の演武祭等があります。

以上の様に体育会は、サークルと一丸となって今日も元気に頑張っています。これも一重に先輩方の築きあげられた基盤があってこそできる技であります。これからも、一

層の飛躍に向けて頑張っていく所存ですので、先輩方のように一層の御指導御鞭撻の程宜しく御願ひ申し上げます。

同窓会本部だより

「同窓会組織の充実と活性化のための集い」が昭和61年2月23日（学園創立記念日）に広島工業大学学生会館4階多目的ホールにて開催されました。このような集いは昭和58年から行われており、今回で第4回となりますが、その名の通り同窓会組織を見なおして、より充実したものにするために、理事長、学長をはじめとする大学関係者と同窓生の皆さんが集い話し合う場を提供するという目的をもちます。しかしながら、日ごろ大学に立ち寄る機会がない同窓生の方々に大学の様子を見てもらうだけでも、大学と同窓生または同窓会と同窓生というきずなを確かめてもらえるものと思います。

今年と同窓会20周年、学園30周年という記念すべき年でありまして、集いのプログラムは以下の通りでした。

13:30 受付

14:00 開会式

1. 会長挨拶 20周年を迎えて
2. 学長挨拶 本学の状況
3. 顧問挨拶 本会20周年を祝して

ひとこと講演：鶴 総長

「学園30周年を迎え、同窓会20周年を祝して」

15:00 休憩 VTRによる大学紹介

15:10 同窓会の充実と活性化のための集いの進め方説明

15:20 グループ討議

16:20 休憩 VTRによる大学紹介

16:40 全体討議

17:50 討議のまとめ

18:00から学生会館1階開化亭で懇親会が行われ、20:00に散会となりました。

グループ討議の内容その他詳細については会誌の方で報告予定としております。

(小西正明・吉田和信)

同窓会会員名簿について

—アンケートハガキを返して下さい—

昭和60年度に同窓会20周年記念事業の一環として、名簿の電算化を行ないました。たくさんの方々にご協力いただき誠にありがとうございました。お陰さまを持ちまして無事発刊することができました。

今後も、出来上がった名簿の修正、これから収集を必要とするデータ等残された作業もありますので、皆様方これまでにも増したご協力をお願い致します。

早速ですが、先程お送りしました名簿に挿入してあるアンケートハガキ（修正ハガキ）の回収率が少し悪いようです。今一度、お手元の名簿を見て頂きまして、アンケートハガキをご返送下さいませようお願い申し上げます。